

# わくわくドキドキならはらテクテク

2026. 4. 6 NO.2 ならはらの森なかの学舎



なら原っ子「あれ、あれ、この黒いかたまりは何だろうなあ。後ろは川みたいだな。」

なら原っ子「これは、どこの写真だろうなあ。」

モンタ博士「なかの学舎のよい子のみなさん。今日はね、タイムトラベルの続きだよ。」

なら原っ子「え！続き？また、大昔のお話をしてくれるんですか。うれしいなあ。」

モンタ博士「上の写真は何か分からなかったでしょ。これはね、メタセコイアの化石なんだよ。なかの学舎から歩いて、10分くらいの北浅川にあるんだよ。」

なら原っ子「え！そんな近くに、化石が見られる所があるんですか。」

モンタ博士「写真の下に、細長い紙が置いてあるだろう。30cmのものさしだよ。」

なら原っ子「へえー。それじゃ、とっても大きいということですね。」

なら原っ子「ところで、メタセコイアって、何ですか。」

モンタ博士「大昔の木で、絶滅したと言われていた木なんだ。昭和18年に中国で発見されて、そのタネが各国に提供され、近くでは清水公園などにあるんだよ。」

なら原っ子「へえー。そうなんですか。初めて知りました。」

モンタ博士「それから、この化石は2000000年前のものだよ。」

なら原っ子「200万年前！そんなに大昔のお話ですか。」

モンタ博士「そうだよ。手でさわってごらん。200万年前にタイムトラベルできるよ。」

なら原っ子「へえー。それはおもしろそうですね。今度、みんなで行きたいです。」

モンタ博士「この化石はね、高速道路の橋を作る工事をしている時に、発見されたんだ。」

なら原っ子「いつ、見つけたのですか。化石はいっぱいあるんですか。」

モンタ博士「昭和42年だから、今から58年前だね。浅川の水の流れで地表に出て来たというわけさ。左岸で29株も見つっているんだ。」

なら原っ子「だれでも見る事ができるんですか。さわることもできるんですか。」

モンタ博士「そうだよ。そのうち、いつかウッチーに連れてってもらいな。それから、こんなものもあるよ。」



なら原っ子「こりゃ何だろう。ただの丸いだけの物みたいだけど・・・。」

なら原っ子「少し黒くなっている所もあるけど、何だかさっぱり分からないよ。」

モンタ博士「これはね、ズバリ！ゾウの足あとの化石だよ。」

なら原っ子「え！ゾウの足あとの化石？どこにあるんですか。」

モンタ博士「メタセコイア化石のすぐ近くにあったんだよ。」

なら原っ子「ということは、なかの学舎から歩いて10分の所にあるんですね。」

モンタ博士「そうだよ。このゾウの化石はね、八王子で発見されたので、ハチオウジゾウという名前がついているんだよ。約230万年前のものなんだよ。」

なら原っ子「そんなに有名なんですね。ぼく、まったく知りませんでした。」

モンタ博士「化石はね、足あとだけでなく、2本の大きなキバと臼歯（きゅうし）が6個も見つけれられたんだ。2001年12月のことだよ。」

なら原っ子「すごいですね。大ニュースですね。キバって、とても長いものですよ。」

モンタ博士「そうだよ。その時の写真があるから見てごらん。」



なら原っ子「うわあー。すごいですね。大きいですね。迫力ありますね。だれが見つけたのですか。」

モンタ博士「発見したのは、八王子市の中学校の先生なんだよ。」

なら原っ子「へえー。すごいですね。大発見ですね。」

モンタ博士「見つけた場所というのは、今でもあるんだよ。写真で撮ってきたよ。」



なら原っ子「まだ、化石は見つけれられるのですか。」

モンタ博士「それはどうかな。でも、足あとの化石はまだ見つけることができるそうだよ。

それから、最初の発見では、キバ2本と臼歯6個だったけど、その後の調査では、ほぼ一頭分の骨が見つかったそうなんだ。」

なら原っ子「ハチオウジゾウというのは、どういうゾウなんですか。」

モンタ博士「日本の古代ゾウの仲間だね。高さ3mくらいのミエゾウ（400万～290万年前）というのがいたんだけど、その後に2mくらいのアケボノゾウ（200万～100万年前）に進化していくらしいけど、ハチオウジゾウは、その中間種（新種）ということらしいよ。興味のある人は、自分でいろいろと調べてみるといいよ。ともかく、なかの学舎の近くに、すばらしい歴史遺産があり、価値ある自然の姿がたくさん残されているということだね。」

**※ゾウのキバや臼歯は、八王子市に寄贈され、現在、八王子市郷土資料館にて管理しています。なお、レプリカは、コニカミノルタサイエンスドーム（子ども科学館）に行けば見ることができます。また、詳しい説明等も丁寧に記されています。ぜひ行ってみましょう！**